

季節予報に手を出そうとしているところはほとんどない。今回の会議でも、気象庁から1名のみ参加というのは、これだけ、中国、韓国の参加者が目立つなか、日本の引いた姿勢が目立つ結果となっていると思う。

もうひとつは、国際協力を口にしながら、また、アジア重視といいながら、韓国や中国などに滞在する日本からのポスドクや visiting scientist が非常に少ないことである。もちろん、個人の研究者として、研究的にみて利益があるか、ないかで決めているのだから文句を言う筋合いではないが、欧米には出かけてゆくが、アジアには出かけていかない、というような雰囲気が感じられてしまう。アジアより日本の方が進んでいる、と思っているわけでもないだろうが、10-20年後には、東アジアの状況は大きく変わっているかもしれない。若い人たちは、長期的な視点をもってアジアのこれらの活動に目を向けていくべきことと思う。少なくとも、

欧米志向から離れてアジアにかけてみようという若い人が何人かはいてもよいように思う。もちろん、これにはリスクもある。しかし、今安全と想着いても10-20年後には何が起きるかわからないのである。ひょっとすると、将来、当たるかもしれない。最後に、やはり言葉である。人の心の襞は、外国人の英語ではなかなか理解できないと思う。中国語や韓国語をマスターしたような人が何人も出てくると、東アジアの交流はもっと容易に展開することであろう。

参 考 文 献

- Krishnamurti, T. N., C. M. Kishtawal, T. E. Laow, R. R. Bachiochi, Z. Zhang, C. E. Williford, S. Gadgil, and S. Surendran, 1999: Improved weather and seasonal climate forecasts from multimodel super-ensemble, *Science*, **285**, 1548-1550.



人間—生活環境系国際会議

International Conference on Human-Environment System (ICHES '05) のお知らせ

今年の9月に東京で開催する国際会議を計画しております。これは過去2回開催してきた国際会議の3回目に当たります。内容は人間生活と環境との関連です。具体的には生気象的な人体生理の問題、生活環境としての着衣や住空間と気候との関係、生活環境が地球環境へ及ぼす影響などです。詳しくはホームページをご高覧ください。気象そのものを対象にしている会議ではありませんが、もともと学際的な研究会である人間—生活環境系学会を幹事として、日本生気象学会、睡眠環境学会、韓国人間生活環境学会が共催する国際会議です。人間の生活環境と関連がある研究でしたら幅広く受け入れることができます。ただ今研究発表申込み受け付け中です。

- 名 称**：人間—生活環境系国際会議
International Conference on Human-Environment System (ICHES'05)
- 主 題**：地球環境と幸福な生活
Global Environment and Quality of Life
- 内 容**：人間の生活環境に関わる諸問題
(詳細はHP参照)
- 日 程**：2005年9月12日(月)～15日(木)
- 場 所**：文化女子大学(東京都渋谷区代々木)
- 詳 細**：<http://jhes-jp.com/iches05/>
- 申 込**：下記にメールでお問い合わせください。
- 連 絡**：琉球大学工学部 堤 純一郎
jzutsumi@tec.u-ryukyu.ac.jp